

公益財団法人書壇院 令和3年度・事業報告

公益事業1 書道に関する普及啓蒙活動事業

第1 収蔵品の調査研究と貸出・公開	1頁
第2 講演会・ギャラリートーク	2頁
第3 展覧会	2頁

公益事業2 書道に関する支援・能力開発事業

第1 書道に関する技能能力の審査・認定	3頁
第2 書道教育研究誌の頒布	3頁
第3 次代を担う指導者の育成	6頁

収益事業

第1 事務所床賃貸事業	7頁
第2 書壇院ギャラリー・書壇院ホール賃貸事業	7頁

その他

○ 懇親会等	7頁
--------	----

公益事業1 書道に関する普及啓蒙活動事業

第1 収蔵品の調査研究と貸出・公開

1 企画維持管理

(1) 書壇院で受け入れた新規購入品及び寄贈品の整理・配架

(2) 苞竹記念文庫の書庫・収蔵品の整理・管理

ア 閲覧図書管理

イ 軸の修理

ウ 新収蔵品にバーコードを付け、データ入力

エ 硯棚の整理

(3) 書壇院ギャラリー展示の実施

ア 第113回展（企画展示）

本物を見よう－『書壇』掲載の本院蔵 明・清の書 その2－

イ 第114回展（企画展示）は、新型コロナウイルス感染防止のため延期。

ウ 第115回展（平常展示）「吉田苞竹展」は、新型コロナウイルス感染防止のため延期。

2 調査研究

(1) 明治以前の日本の書の拓本の調査を継続

ア 釈文の採録

イ 粗読み

(2) 鐘銘拓本の整理研究

3 展示事業

(1) 企画展示

ア 第113回展

本物を見よう－『書壇』掲載の本院蔵 明・清の書 その2－

会期 令和3年6月15日（火）～7月25日（日）

イ 第114回展は、新型コロナウイルス感染防止のため延期。

(2) 平常展示

○ 第115回展「吉田苞竹展」は、新型コロナウイルス感染防止のため延期。

第2 講演会・ギャラリートーク

1 講演会

第26回文化講演会（仮題：水筆を含む指導方法について、講師：長野竹軒先生、会費：1,000円）は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

2 ギャラリートーク

新型コロナウイルス感染防止のため中止。

第3 展覧会

1 第13回書壇院日本文の書展

会 期 I 令和3年9月11日（土）～9月16日（木）

II 令和3年9月18日（土）～9月23日（木・祝）

III 令和3年9月25日（土）～9月30日（木）

会 場 書壇院ギャラリー

出品者 書壇院展審査会員117名、院友67名、合計184名

2 第88回書壇院展

会 期 令和3年12月4日（土）～12月11日（土）

会 場 東京都美術館（東京・上野公園）

出品者 全国公募による出品者 445名

書壇院展審査会員 196名

書壇院展院友 156名

合計 797名

3 第88回書壇院学生展

会 期 上記2に同じ

会 場 上記2に同じ

出品者 全国公募による小学生 627名

全国公募による中学生 166名

全国公募による高校生 59名

合計 852名

4 第61回書壇院竹心展

会 期 令和4年3月22日（火）～3月27日（日）

会 場 セントラルミュージアム銀座（紙パルプ会館5F）

出品者 書壇院展審査会員 155名

書壇院展院友（特別選抜者） 12名

合計 167名

公益事業2 書道に関する支援・能力開発事業

第1 書道に関する技能能力の審査・認定

各昇位試験及び書道・南画教授認定試験を実施した。

1 漢字・かな・南画昇位試験

締切：令和3年6月8日 受験者：27名、各位合格者：27名

2 玄位・妙位・雪位試験

締切：令和3年8月7日 受験者：79名、各位合格者：53名

3 書道・南画教授認定試験

締切：令和3年9月3日 資格保持者：3名、受験者：1名、認定者：4名

4 日本文部昇位試験

締切：令和3年10月7日 受験者：67名、各位合格者：30名

5 上位・極位・雅位試験

締切：令和4年3月8日 受験者：157名、各位合格者：57名

第2 書道教育研究誌の頒布

1 書道教育研究誌である月刊『書壇』・『学生書壇』の刊行について

(1) 公益財団法人としての理念を体し、次の諸事項を行った。

ア 『書壇』・『学生書壇』の誌代を次のようにした。

『書壇』 1部800円（送料・消費税込）

『学生書壇』 1部450円（送料・消費税込）

イ 『書壇』購読者は、漢字・かな・南画・日本文・篆刻のすべての部門の競書出品を無料とした。

ウ 『学生書壇』購読者は、漢字・かな・硬筆すべての部門の競書出品を無料とした。

エ 過去1年間（4月号～3月号）に購読又は取扱った冊数が一定以上に達

した指導者（あるいは取扱責任者）を「協力員」とし、その姓号（氏名）を誌上に発表して協力を讃えた。

オ 両誌に改善を加え、魅力ある教育研究誌となるよう努力した。

(2) 『書壇』について

ア 月例掲載記事は、令和2年度に準じて行った。

イ 表紙は、書壇院蔵の「南画」とし、裏表紙は、書壇院蔵の作品に解説を添えて載せた。

ウ 「同人参考手本」

条幅・半紙とも、読者の競書出品の参考となるようにした。

また、2尺×6尺・3尺×4尺の参考手本は、書壇院展・毎日書道展への取組みを身近なものとし、制作意欲を刺激し、出品数の増加を図る目的で掲載した（漢字・かな・日本文）。

エ 「漢字規定」

上位・準上位の課題は引き続き唐詩を、玄位～六位及び新規は五言句の参考手本を掲載した。小字の課題は、引き続き古典と近藤秋篁書の臨書を取り入れた。

オ 「かな規定」

極位・準極位は和歌又は俳句を、妙位～6位及び新規は参考手本を掲載した。

カ 「南画規定」

南画初学講座として、参考手本と解説を載せた。

キ 「漢字臨書規定」

古典研究として読者の作品制作の糧となるような古典を選び、参考手本（条幅・半紙）と解説を載せた。

ク 「かな臨書規定」

極位～2位は古典の臨書とし、3位～6位はその中の一部分を参考手本として載せた。

ケ 「日本文の書」

参考手本（半紙規定・条幅規定）を掲載し、規定と随意を募集した。

コ 「篆刻入門」

参考手本を掲載し、規定と随意を募集した。

サ 随時掲載記事

『書道讀本』吉田苞竹著（抜粋）、「書によせて」、「展覧会案内」、「展覧会報告」、「書壇院日記」その他を載せた。

シ 「審査会員遊苑」

『書壇』の審査会員を対象に毎月課題を設定し、作品制作をすることで書の技倆の向上に資するようにした（漢字・かな・日本文）。

ス 表具店、文房四宝店等の広告をなるべく多く掲載し、購読者への情報提供の拡大を図った。

セ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないよう注意を喚起した。

(3) 『学生書壇』について

ア 月例掲載記事は、令和2年度に準じて行った。

イ 表紙は、泗水昇鼎図より取りあげた。

ウ 表紙裏に、「古典への招待」を載せた。

エ 「鑑賞作品」は、古典の一部を大きく掲載し、やさしい解説を添えた。

オ 掲載手本

「毛筆部」… 幼児、小1～小6、中1～中3、高校（11種）

「かな部」… かな中学、かな高校（2種）

「硬筆部」… 幼児、小1～小6、中・高（8種）

カ 「特待生紹介」は、従来どおり掲載した。

キ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないよう注意を喚起した。

2 『書壇』『学生書壇』の売上部数について

令和3年度の年間売上部数は以下のとおりであった。

『書壇』 …26,544部（前年度比 1,074部減）

『学生書壇』…29,197部（前年度比 92部減）

第3 次代を担う指導者の育成

1 書道教室の継続実施

書道教室（漢字・かな・水墨画（南画））を月2回（原則として第2・第4週）書壇院ホールにおいて継続実施した。

漢字 水曜日・金曜日

かな 火曜日・土曜日

水墨画（南画） 土曜日

子ども 水曜日・木曜日・金曜日・日曜日

※ 新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年5月から10月、令和4年2月から3月の期間は休止。

2 書道講習会の開催

書道講習会（年4回、日本文・水墨画（南画）・篆刻・かな各1回ずつ）は、新型コロナウイルス感染防止のためいずれも中止。

3 書初め会の継続実施

正月の書初め会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

4 「若竹」活動の一層の活発化

(1) 若竹交流会（年2回、8月と12月）は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

(2) 第6回書壇院若竹作品発表会の開催

令和3年8月1日（日）～8月8日（日）に書壇院ギャラリーで開催し、出品数は264点。

(3) 第7回インターネット展の開催

前記(2)の作品を、インターネット展として書壇院ホームページに掲載。

5 他団体の育成事業への指導協力・支援

(1) 毎日書道展への出品

作品検討会（東京）を実施。

(2) 高野山競書大会への出品

2, 251点出品し、団体特別優秀賞を受賞。

(3) 国際高校生選抜書展への出品

34点出品し、3名が入選。

(4) 山形県鶴岡市立朝陽第二小学校（吉田苞竹の母校）の書初め会への支援として、賞状（苞竹奨励賞）と副賞（墨液）を送付。

収益事業

第1 事務所床賃貸事業

賃貸人公益財団法人書壇院と賃借人森ビル株式会社が締結した「建物賃貸借契約書」に基づき、本院所有の事務所床（東京都港区六本木1-9-10 アークヒルズ仙石山森タワー27階部分）について、引き続き賃貸した。

第2 書壇院ギャラリー・ホールの賃貸事業

「書壇院ギャラリー」「書壇院ホール」は、新型コロナウイルス感染防止のため、貸出実績なし。

その他

○ 懇親会等

展覧会・講演会の実施に付随し、次の懇親会等を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染防止のためいずれも中止。

- ・「第26回文化講演会」懇親会
- ・「第88回書壇院展」親睦会
- ・「第61回書壇院竹心展」懇親会

※ 事業報告の附属明細書について

事業報告の内容を補足する重要な事項は、全て事業報告に記載した。